

2015年6月実績概要（メモ）

（2015. 7. 16）

汎用樹脂の国内出荷は4樹脂揃って前月比、前年比とも二桁台の増加。

1. 生産動向

イ) エチレン 497,300トン

前月比 ▲ 6.5% (▲ 34,800トン)

前年同月比 + 2.9% (+ 14,000トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲ 3.2%	-
定修要因等	▲ 0.4%	+ 8.1%
能力増減	▲ 1.9%	▲ 5.8%
稼働率変動	▲ 1.0%	+ 0.6%
生産増減率	▲ 6.5%	+ 2.9%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月 94.3% → 当月 93.4% ← 前年同月 93.0%

定修プラント：前月 1社1プラント → 当月 1社1プラント ← 前年同月 3社3プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数の減少と定修規模差等から LD、PP、EO、EG、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの15品目がマイナス。HDなどの2品目のみがプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、キシレンなどの7品目でプラス。HD、SM、MMAモノマー、AN、SBR、トルエンなどの10品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数の減少とともに定修シーズン中にあり LD、PP、PS でマイナスとなった。HD は稼働率要因と定修規模差からプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から LD、PP ではプラス、HD、PS はマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、前月は連休に伴う営業日数の減少から出荷が減少した。当月はこれに対して LD、HD、PP、PS の4樹脂で前月を上回った。

前年比でも4樹脂で大幅なプラスとなった。輸入品の減少傾向が続いていることもあり、LD、HD では主力のフィルム分野等の出荷が増加、PP では射出成形分野、フィルム分野等の出荷が増加した。PS は主用途の包装分野の出荷増加のほか、ほぼ全ての分野において前年を大きく上回る出荷となった。

ハ) 輸出

良好な交易条件が続いているが、国内出荷が増加した影響もあり、前月比では LD、HD、PP でマイナスとなった。前年比では HD、PP、PS でプラスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PS の4樹脂揃って減少した。在庫率(季節調整済)は LD、HD、PP、PS とも前月に対して低下した。在庫水準としては、LD はやや高め、HD、PP、PS はほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		5月末	6月末
LD	▲ 34,900	3.1	2.9
HD	▲ 10,500	2.6	2.3
PP	▲ 81,900	2.5	2.3
PS	▲ 19,900	1.2	0.8

以上